

五万石藤まつり協賛

新能

能

熊坂

シテ 山中雅志

解説 山下あさの

仕舞

屋島 清沢一政

二人静 久田勘鷗 久田三津子

レクチャー

「人の情念を伝える面と装束のおはなし」(能面体験)

《ワークショップ》

雅楽

岡崎市長立矢作北小学校雅楽部

山下あさの

日時 令和2年 5月9日(土)

開場 15:30 開演 16:00

会場 岡崎城二の丸能楽堂

主催 岡崎に能楽を広める会

協賛 梓屯能面の会

後援 岡崎市・岡崎市教育委員会・岡崎市文化協会・岡崎市観光協会・中日新聞社・東海愛知新聞社

チケット：前売券 指定席 3,500 円
自由席 3,000 円 (学生) 自由席 1,500 円
当日券 自由席 3,500 円 (学生) 自由席 2,000 円

チケット申込み：2月3日(月)から
問い合わせ：岡崎に能楽を広める会
TEL：0564-21-7151 (岡田印刷内)

番組 16:00～

《ワークショップ》

雅楽 岡崎市立矢作北小学校 雅楽部
レクチャー

「人の情念を伝える面と装束のお話」(能面体験)
「葵上」「安達原」「殺生石」「鉄輪」

山下あさの

仕舞

「屋 島」 清沢一政
「二人静」 久田勘鷗 久田三津子

18:20～

能 解説 山下あさの
「熊坂」

シテ 山中雅志
ワキ 橋本 宰
アイ 鹿島俊裕
笛 山村友子
小鼓 後藤嘉津幸
大鼓 河村裕一郎
太鼓 加藤洋輝

「熊坂」 あらすじ

都方の僧が東国修行に出かけ、美濃国赤坂まで来ると、一人の僧が現れて呼び止め、今日はさる者の命日だから回向を頼むと言ひ、自分の庵に案内する。そこで旅僧が庵の持仏堂に入ると、そこには繪像も木像もなく、長刀などの武具が置いてあるので、不審がってその由を訊ねると、このあたりは山賊や夜盗が出没し、被害者の泣き叫ぶ声が聞こえるので、その時は長刀を提げて助けに行くのですと答え、僧の腕立は似合わぬようですが、仏も衆生を救う方便として殺生を認めていられるのですから、と語った後、挨拶して寝室に入ろうとする時、その姿は消え、庵は松蔭の叢となった一中入一。そこで旅僧が終夜読経をしていると、熊坂長範の幽霊が現れ、この赤坂に泊った吉次信高を襲い却って牛若丸に討たれた次第を物語り、回向を乞うて消え失せるのである。熊坂の幽霊が最期の有様を語る所が本曲の主な狙い所である。前段ではシテもワキも僧であるが、熊坂の幽霊であるシテの僧には、奇怪さが感ぜられるように工夫されている。

プロフィール

山中雅志 能楽師 観世流シテ方

昭和52年生。故山中義滋の次男。父及び伯父の生一左兵衛泰知に師事。4歳のときに仕舞「老松」で初舞台。以後約250回以上勤める。

現在、大阪、名古屋、奈良、桜井、岡崎で演能活動、謡・仕舞の稽古、講座を行うかたわら「エコ・ろうそく能」等の近代感覚の能の実施や「高安ルーツの能」「ありとほし薪能」「えなみ能」等の地域と能との所縁を紹介する活動を積極的に展開する。

また他ジャンル、学者・研究者との交流も多い異才派。名古屋観世会所属。(公社)能楽協会大阪支部会員。

山下あさの 能楽師 観世流シテ方

広島市生まれ。大阪市在住。

京都薬科大学卒業。在学中能楽と出会い、卒業後内弟子修業を経て能楽師となる。観世流職分山本勝一に師事。能楽の普遍的で奥深い表現様式を伝えるべく、舞台公演・技術指導の傍ら幅広い普及活動に取り組んでいる。

年二回広島で自主公演を行う。

謡蹟探訪会主催。公益法人能楽協会会員。

坂井 孝 能面師(能面作者)

梓屯能面の会を主宰(岡崎・彦根にて教室)

平成5年岡崎市面打ち講座を受講

その後、平成17年より講師に就き現在に至る

横浜・大阪の能面公募展の入賞作品が舞台で使用され、その後全国各地の舞台で自作能面が使用される。

「岡崎に能楽を広める会」設立趣意書並びに「賛助会」設立の趣旨とご協力(入会)のお願い

日本古来の「能楽」は世界にその類を見ない総合舞台芸術として海外でも高く評価され愛好者も多く、また岡崎が生んだ偉大なる為政者徳川家康が最も愛し、自らも能を舞い、能を広めた古典芸能であります。

その岡崎に能舞台が無く、「岡崎に能舞台を」という関係者の悲願がかなない30年前、当時の岡崎市長中根鎮夫氏の大英断により当時としては巨額の費用(約2億円)を投じて「岡崎城二ノ丸能楽堂」(能舞台)が建設されました。当初は岡崎市主催の薪能や愛好者による能あるいは謡曲・仕舞の会が盛んに行われ、能舞台が有効に活用されていましたが、時を経るとともに岡崎市主催の薪能も催されなくなり、能舞台の有効活用が影を潜めるようになりました。

そこで、市民の皆さんの浄財を投じての能舞台の有効活用を目指し、岡崎および周辺の能楽愛好者により「岡崎に能楽を広める会」を平成26年に設立し今日に至っています。「岡崎に能楽を広める会」が主催し「薪能」を開催し3年目になりました。今後も設立の趣旨に沿って能舞台の有効活用目指し活動してまいりますので「岡崎に能楽を広める会」に絶大なるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせは「岡崎に能楽を広める会事務局」(岡田印刷内)まで

☎ 0564-21-7151